

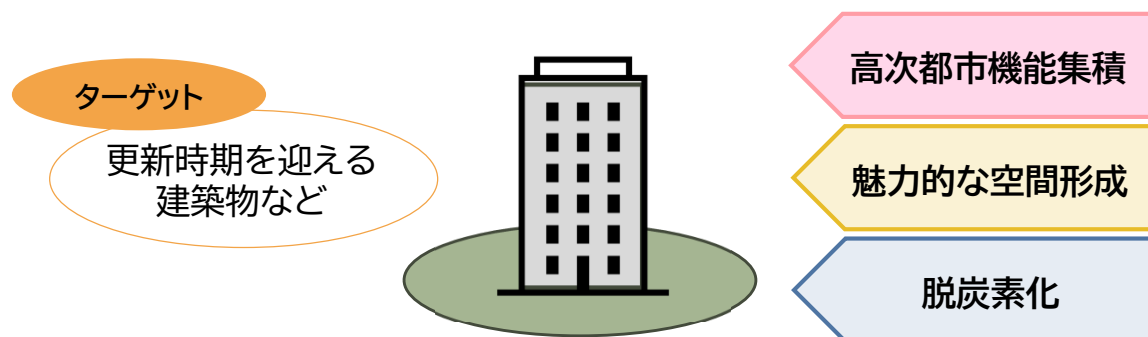
5章 重点的に進める取組

5.1 取組を進めるにあたって重視する考え方

5.2 重点的に進める取組

5.1 取組を進めるにあたって重視する考え方

- これまでも更新時期を迎える民間建築物などに対して、良好な開発となるよう様々な取組を通じて誘導・調整してきたところですが、今後、3つの目標を実現するためには、**まちづくりとエネルギー施策の総合性・一体性を高めることが重要です。**
- 今後は各取組の強化とともに取組間の連携を強め、まちづくりとエネルギー施策が相互に補完しあう仕組みを構築します。
- それをわかりやすく発信し、事業者に対して理解を促し、建替等の機会を通じて目標の実現につながる取組を一体的に誘導していきます。



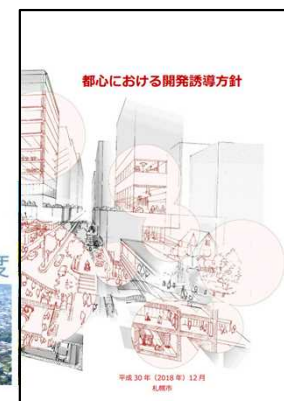
<今後の取組例>

まちづくりとエネルギー施策を一体的に誘導するため「札幌都心E！まち開発推進制度(Eまち制度)」を発展、強化

<参考>

現行のEまち制度を通じた取組誘導と支援策の一体的な展開

- ・「都心における開発誘導方針」に基づく容積率緩和
- ・「ゼロカーボン推進ビル認定」による立地促進補助の割増し



5.1 取組を進めるにあたって重視する考え方

- ・ 良好な開発に向けて（目に見える）札幌らしさを強調することも重要です。
- ・ 企画設計・運用上の視点において、特に配慮すべきポイントを示します。

ひと

空間を使う“ひと”を中心に考える
（活動主体になるプレイヤーを含む）

<取組例>

- ・多様な利活用を実現するパブリックスペースの創出と運用
- ・街路と沿道が一体となった空間形成
- ・通過交通の分散等やアクセス環境の確保



目標2
と関連



目標1
と関連

【参考イメージ】
南1条通社会実験

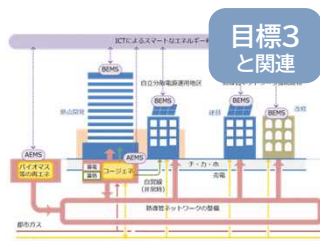
【参考イメージ】エレベーターの新設
（札幌市 札幌市バリアフリー基本構想）

ゆき

雪や氷の活用、冬の快適性の向上により、札幌の魅力・活力となるように考える

<取組例>

- ・雪、冬季の景観への配慮
- ・冬季の空間活用の工夫
- ・積雪寒冷地に適した建物の省エネ化
- ・エネルギーネットワークインフラの活用



目標3
と関連



目標2
と関連

ZEB化、ZEH-M化
エネルギーネットワークインフラの活用

【参考イメージ】
北三条広場（アカプラ）の
スケートリンク

みどり

まちの価値を高める
みどりの充実を考える

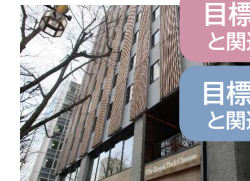
<取組例>

- ・良質で豊かなみどりの空間の創出
- ・みどりと調和した木材利用の促進
- ・みどりや木質化を強調したブランディング（持続可能な環境に配慮したまち
→GX投資にも繋げる）



目標2
と関連

【参考イメージ】
建物と調和した並木



目標1
と関連

目標3
と関連

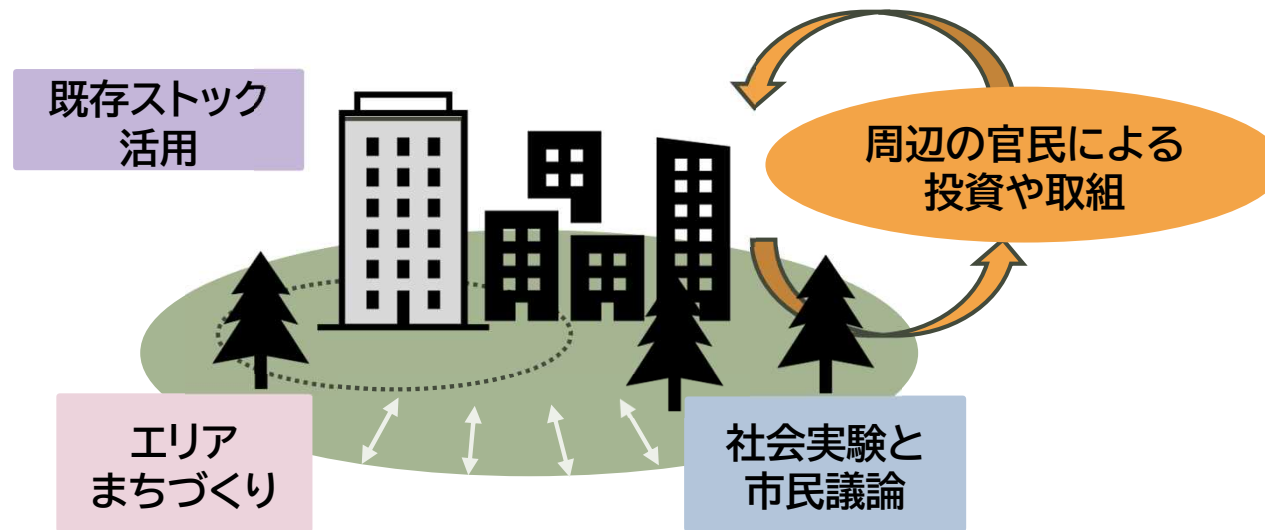
【参考イメージ】
木材を活用した建物
（ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園）

【札幌市最上位計画】
第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン
＜目指すべき都市像＞

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、
豊かな暮らしと新たな価値を創る、
持続可能な世界都市・さっぽろ

5.1 取組を進めるにあたって重視する考え方

- 建物単体で考えるのではなく、**公共と民間の取組が共鳴し、相乗効果をもたらすことが求められる**ため、取組を進める際のポイントを3つ示します。



社会実験と市民議論

社会実験等により使い方・使われ方を検証し、周辺地権者・市民等と合意形成をはかりながら、よりよいものをつくり、運用していく

エリアまちづくり

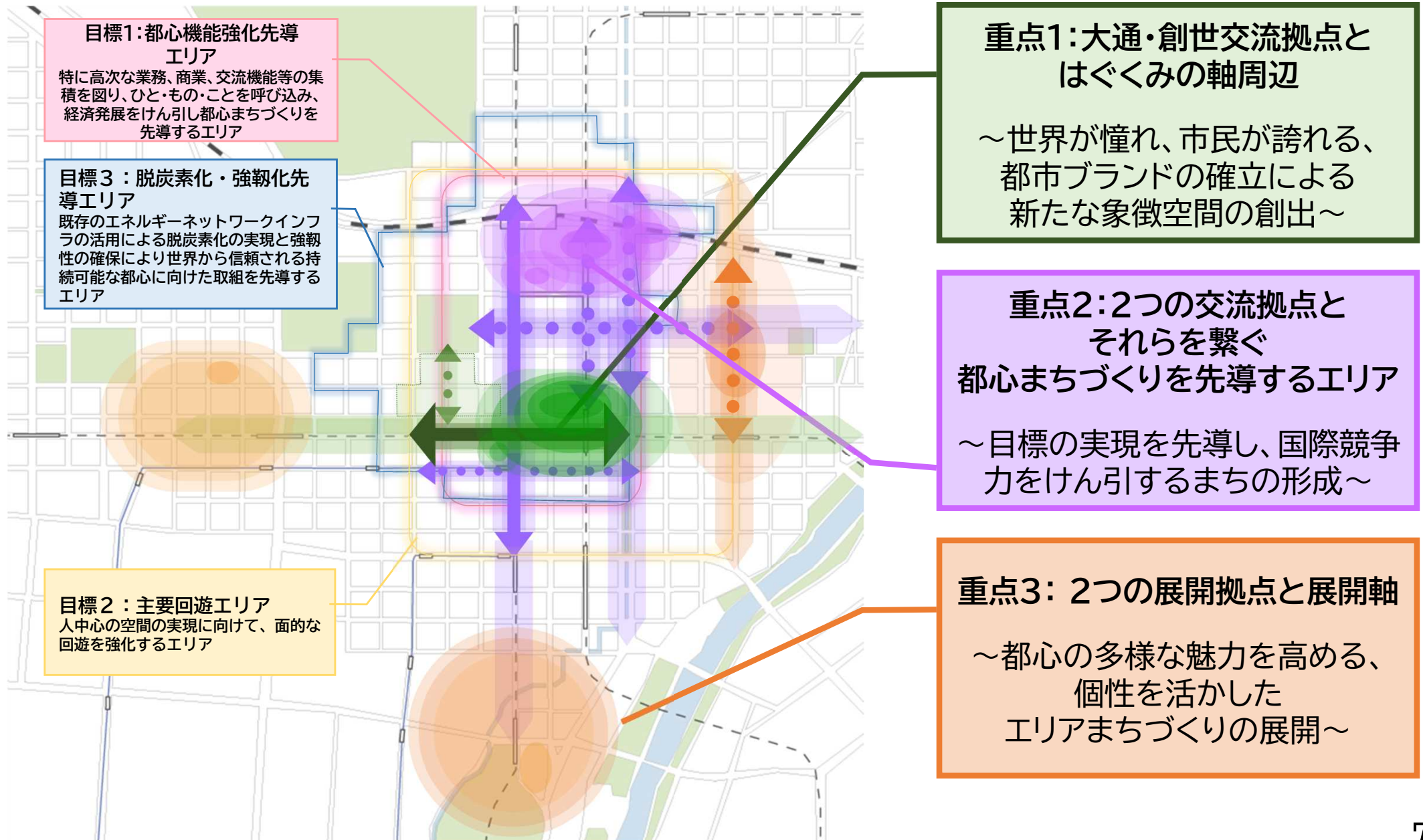
道路・エネルギーネットワーク等の基盤を含む地域特性を踏まえ、周辺地権者とともに中長期的なエリア価値の向上に努める
(エリアまちづくりを推進するさらなる支援策の検討)

既存ストック活用

新築に限らず改修も視野に、地域資源や既存インフラを活かしながら、課題や目的に応じた最適な手法を検討する
(規模等に応じた、きめ細かく機動的な対応や支援を検討)

5.2 重点的に進める取組

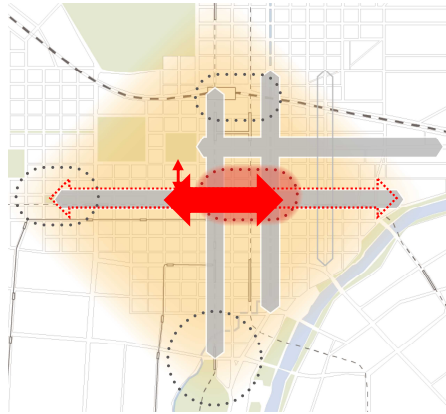
前ページの内容を踏まえつつ、今後の計画期間で、波及・連鎖していく可能性が高く、重点的に推進していくべき取組について示します。



5.2 重点的に進める取組

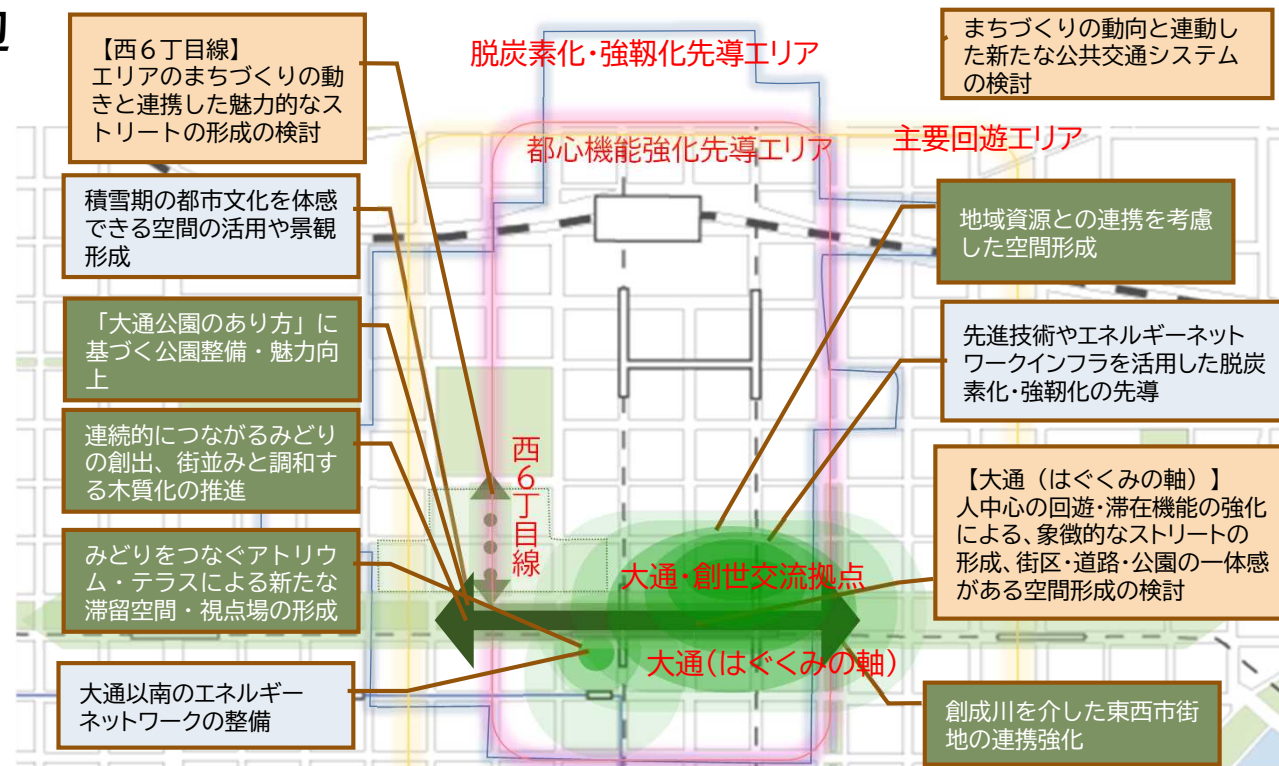
(1) 大通・創世交流拠点とはぐくみの軸周辺

～世界が憧れ、市民が誇れる、都市ブランドの
確立による新たな象徴空間の創出～



重点にする理由・ねらい

- 大通公園をはじめとした札幌を代表する地域資源が集積し、国内外からの来街者も多く集まるため、取組による高い効果が期待できる
- 次の20年で官民の連鎖的な開発と相互連携によって、街区・道路・公園を一体的に動かしていくべき場所
- ⇒多くの来街者の滞留や交流、様々な活動が生まれ、新たな価値を創造する
- ⇒豊かな時間を過ごせる優れた都市文化を醸成し、市民の生活の質を向上させるとともに都市ブランドを確立する



今後の進め方

官民で共有するまちづくりの方向性の整理

大通及びその周辺のまちづくり方針
ー札幌都心はぐくみの軸強化方針ー（R5策定）
に基づく将来像の実現

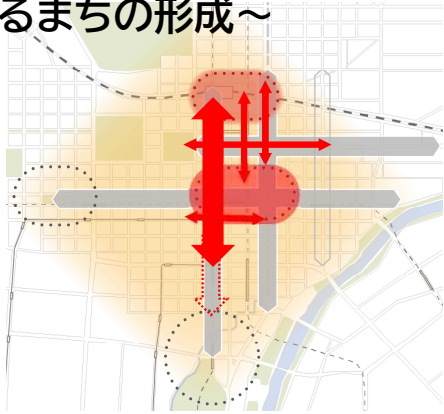
<西Aゾーンの強化の考え方イメージ>

市有地の利活用による複数街区での連鎖開発

象徴空間の創出

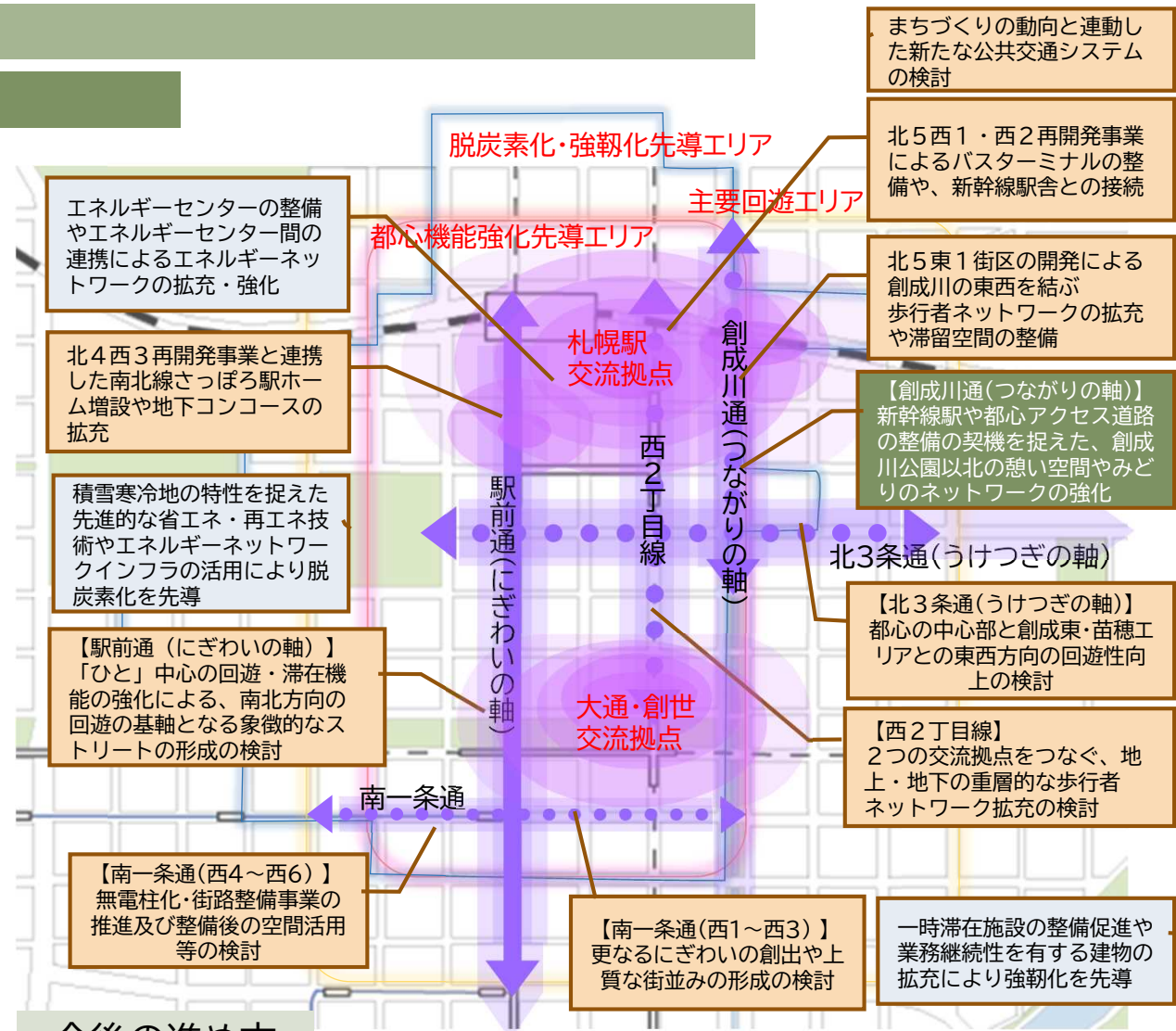


～目標の実現を先導し、国際競争力をけん引するまちの形成～



●高次都市機能集積、エネルギーネットワーク、歩行者ネットワーク、エリアマネジメントなどこれまでの取組の状況から、目標1・2・3を一体的に具現化・高次化していくエリア

⇒都心まちづくりを先導し、エリア価値を高め、都心全体や他のエリアへその効果を波及させる

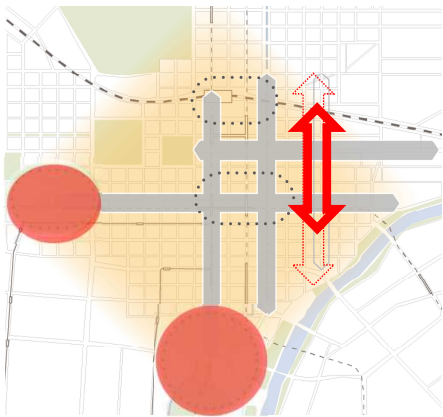


今後の進め方

札幌駅 交流拠点	各種都市開発事業の推進(北4西3、北5西1・2再開発事業等)	エリアの価値 向上に向けた 持続的な取組
	新幹線駅舎、駅前広場等の整備	
	工事期間中の機能確保・にぎわいの維持	
	エリアの統一的なサインやマネジメント体制の検討	
主要検討路 線における 進め方	沿道関係者との将来像の共有 社会実験等を重ねながら取組を検討・推進	官民による連携 ハード・ソフト両面 での取組の推進

(3)2つの展開拠点と展開軸

～都心の多様な魅力を高める、個性を活かした
エリアまちづくりの展開～

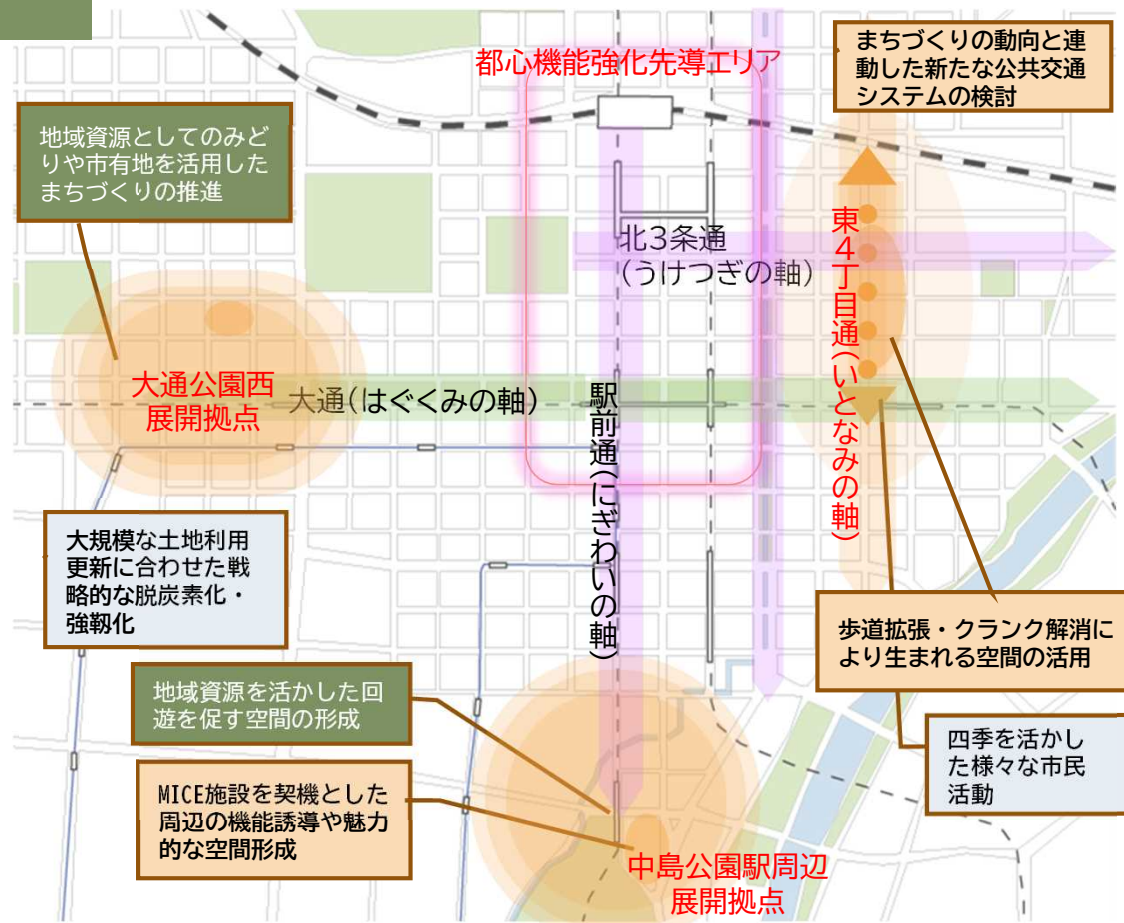


重点にする理由・ねらい

●都心のコア(都心機能強化先導エリア等)とは異なる特徴・役割を明確にし、その特性に応じたまちづくりと脱炭素化を一体的かつ戦略的に進め、拠点・基軸としての独自性・存在感を高めることが求められる

⇒多様なニーズに応え、都心全体の魅力を厚みのあるものとする

⇒魅力的な目的地となり、都心全体の回遊を促進する



今後の進め方

東4丁目通 (いとなみの軸)	街路整備事業の推進		道路空間、 沿道との一体活用
	エリマネ団体の組成		
大通公園西 展開拠点	市有地(芸文館跡地)利活用検討		
	地域意見聴取 機運醸成	ガイドライン策定	ガイドラインに基づく 民間建物の誘導等
中島公園駅 周辺展開拠点	MICE施設整備検討		
	地域意見聴取 機運醸成	ガイドライン策定	ガイドラインに基づく 民間建物の誘導等

6章 取組の進め方

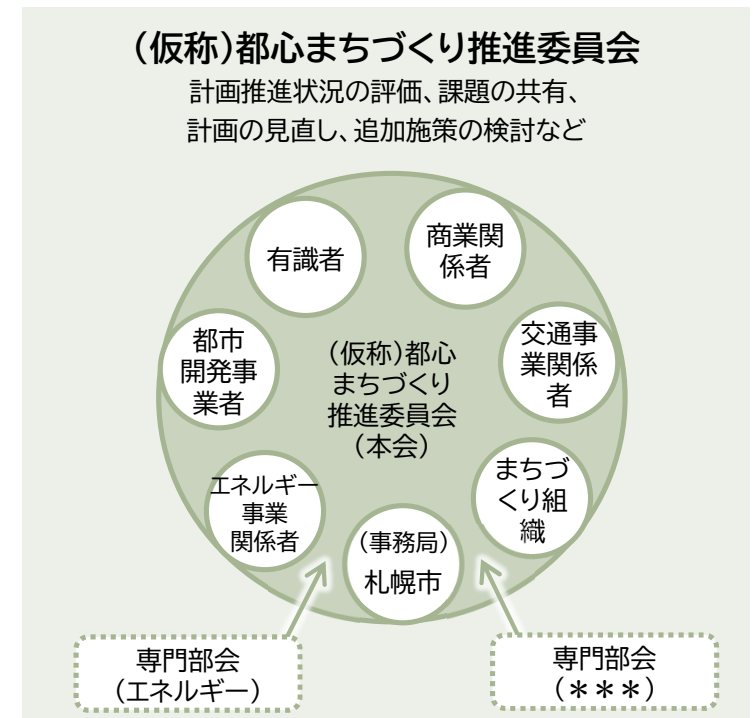
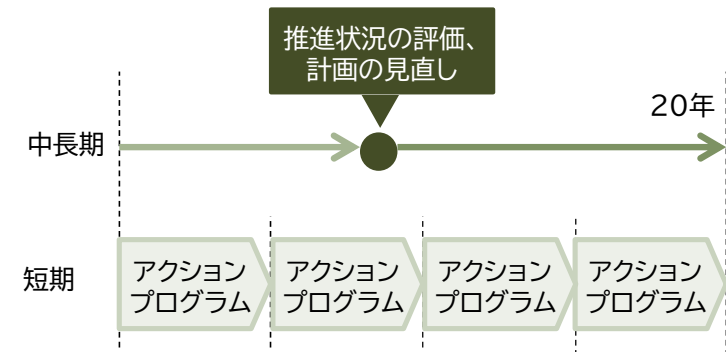
6.1 仕組みと体制

6.2 連鎖的な取組の展開

6.1 仕組みと体制

多様な主体が、都心全体の目標・ビジョンとして本計画を共有し、都心まちづくりのマネジメント機能を担っていくことを目指します。

- 具体の取組・施策をまとめた(仮称)アクションプログラムを策定
 - おおよそ5年ごとに更新し、社会経済情勢の変化へ対応
 - 推進委員会で協議・検討し、官民の取組を反映
- 目標及び取組に応じた指標を設定
 - 適切な進行管理を強化
- (仮称)都心まちづくり推進委員会を設置
 - 多様な主体が参画し、指標をはじめ都心の状況の把握、計画の進捗状況の評価、新たな課題を共有する場として活用
 - 都心まちづくりの総合性と一体性を強化



6.2 連鎖的な取組の展開

推進委員会で全体をマネジメントしながら、具体の取組は、以下の視点で官民協働を促します。
取組が連鎖することで、社会経済情勢の変化にも機動的に対応できる都心まちづくりを目指します。

① まちづくりとエネルギー施策の総合性・一体性の向上

- 「札幌都心E！まち開発推進制度」について、まちづくりとエネルギー施策を総合的・一体的に推進するために強化を図り、これに基づく事前協議の機会等を通じて、建物の脱炭素化とエリア価値の向上の双方につながる良好な開発を誘導・調整します。



② エリア別・テーマ別の取組のさらなる充実

- 新たなエリアにおけるエリアマネジメントの育成や、エリア相互の連携を支援するとともに、エリアに即した地域による開発誘導やエネルギー・防災など新たなテーマに対応した取組を支援します。
- エリアを横断あるいは都心全体を対象とした、民間主体による課題解決やテーマに応じた取組に対しても、支援・連携を図ります。

エリアによらない
課題解決や
テーマに応じた連携

エリアマネジメントの
横連携・取組の強化

